

資料1 令和6年度福島市の難病支援事業について

日 時	内 容	講 師	参 加 者1
6／23 (日)	パーキンソン病について 理解を深めよう	守谷 新 医師 (日赤病院)	参加者：59名（患者23名、家族29名、 サポーター4名、その他3名）
6／28 (金)	個別支援計画をもとに災 害時を想定した確認訓練		患者、家族、支援者、保健所、市危機管理部門 計13名
8／25 (日)	おうちでできる日常動作 改善体操	吉井 雅彦 健康運動指導士 (快フィットネス研究所)	参加者：神経系難病の診断を受けており、バラン スのとり難さがある患者さん及びご家族、支援者 参加者：12名（患者6名、家族6名）
8／30 (金)	福島県保健衛生学会発表		
9～12月	指定難病医療費受給者証 更新業務		更新申請者：2073名（R7.2.21時点）
1／25 (土)	難病サポーター講座 ～防災編～	福島市危機管理室 防災専門官	参加者：29名（患者：2名、家族2名、支援者4名、 サポーター8名、一般13名） 新規登録者：16名
2／8 (土)	炎症性腸疾患について (県北保健所主催・福島市保健所共催)	鬼澤 道夫 医師 (福島医大病院)	参加者：37名（患者13名、家族17名、ボランティ ア・サポーター7名）
3／2 (日)	難病リフレッシュ講座 ・交流会	渡辺さつき 健康体操指導士	

難病医療講演会・交流会 ～パーキンソン病～

令和6年6月23日（日）

①講演「パーキンソン病について理解を深めよう」

講師：福島赤十字病院 脳神経内科部長
守谷 新（もりや あらた）先生

パーキンソン病の全身に現れる様々な病状や治療についてお話あり。



②情報提供「パーキンソン病友の会について」

提供者：パーキンソン病友の会 吉田事務局長



③交流会

5グループに分かれ、病状、日頃気を付けていることなどについて情報共有。



個別支援計画をもとに災害時を想定した確認訓練

令和6年6月28日（金）

患者、家族、支援者、保健所、市危機管理室合わせて13名が参加し、策定した計画の確認を実施。関係者と確認した内容をもとに計画を更新し、実効性のある内容とした。

発災時のベッド周辺の安全確保方法、停電時の医療機器の使用方法について確認することができました。



難病医療講座・交流会～日常動作改善体操&交流会～

令和6年8月25日（日）

①講演「おうちでできる日常動作改善体操」

講師：快フィットネス研究所 健康運動指導士

吉井 雅彦（よしい まさひこ）先生

体の動かし方について実演指導あり、動作確認を一人ひとり実施。



②交流会

日頃のリハビリや運動についての情報共有、講師への質疑応答。



福島県保健衛生学会で難病支援の取り組みを発表

令和6年8月30日（金）

平成30年の保健所設置から難病患者・家族が安心して生活できる地域を目指し、支援活動の取り組みを報告。

難病啓発活動や患者に寄り添う支援を行うサポーターの充実、災害時の対応を具体化する個別支援計画の策定、そして支援者と患者が一体となって支援について考える難病対策地域協議会の設置等を通じ、地域で患者・家族を支援する体制の基盤ができたものと考えている。

今後はこれらの基盤を活かし、これまでアプローチできなかった疾患を含め、患者・家族に対するさらなる支援の強化に積極的に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域・福島市を目指していきたい。

難病サポーター講座～防災編～

令和7年1月25日（土）

①防災講話

講師：福島市危機管理室 防災専門官

②難病の方の災害への備え

災害を経験した難病患者さんや支援者の方へ
災害時の経験や普段からできる備えについて
お聞きしました。

③非常食試食体験

④難病サポーターについて



難病医療相談会 炎症性腸疾患について

令和7年2月8日（土）

- ①講演「炎症性腸疾患について理解を深めよう
～病気と上手に付き合うために～」

講師：福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座

鬼澤 道夫（おにざわ みちお）先生



- ②情報提供

- ・ I B Dふくしまの活動
- ・ 福島産業保健総合支援センター

- ③交流会



※県北保健福祉事務所と福島市保健所が初共催！

令和7年度以降の難病支援事業について

難病法施行
10年



事業	内容
難病の日イベント 令和7年5月25日（日）予定	難病法施行10年を記念し、イベント開催予定
難病医療講演会・交流会	年3～4回実施予定 県北保健福祉事務所と共同開催について協議予定
難病サポーター講座	難病患者のサポート実践編
難病患者災害等緊急時個別支援計画	人工呼吸器装着者3～4名の新規計画策定者の訓練を実施